



ふるさと上越ネットワークたより

編集・発行 ふるさと上越ネットワーク事務局

〒101-0064 東京都千代田区神田猿樂町2-1-2

TEL. 03-5244-5138 FAX. 03-3294-6106

●本庁担当: 上越市 総合政策部 多文化共生課

〒943-8601 新潟県上越市木田1-1-3

TEL. 025-520-5674

ホームページ ▶

ふるさと上越



頸城区上空を舞う白鳥 2023年撮影: 楡井辰雄さん

「たより」No.294 目次

会員数と「ふるさと市場」販売報告	1	瀧川鯉橋師匠 高座予定	7
Jネットの活動とお知らせ	2	上越産品販売のお知らせ	7
とれたて上越	3	新刊本のご紹介	7
上越の行事・展示会・話題	4	「相続ワードの伝え方」 稲場晃美共著	8
会員ひろば	4	上越市からのお知らせ	8
湘南二宮居住50年一散歩・散策のお勧めー 遠藤次男	5	Jネットからのお知らせとお願い	8
俳句ひろば	5		
上越の話題	6	ふるさと上越ネットワーク(Jネット) ホームページでは、	
戸張幸男 彫刻作品集のご紹介		「たより」を全ページフルカラーでご覧いただけます。	

会員数と「ふるさと市場」販売報告

(1) 会員は655名(令和6年1月11日現在)です。※令和5年度目標610名達成。

(2) 「ふるさと市場」の販売取次状況(令和5年12月) 420点 463,330円 ※前年同月 503点 367,406円

Jネットの活動とお知らせ

この度の能登半島地震により犠牲となられた方々に深く哀悼の意を表するとともに、被災された方々、ご家族の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

上越市においても、地震・津波の影響は日を追うごとに被災状況が明らかになっていますし、土砂崩れで不通となった国道8号線の復旧も懸念されます。

降雪も加わり、未だ不安な日々が続いていますが、皆さまの安全と早い復旧・復興を心よりお祈りいたします。

Jネットの活動はコロナ前の状況にほぼ復活しつつあります。

皆さま、今年も宜しくご協力くださいますようお願い申し上げます。

会長 小坂庸雄

◆1月11日(木)湯島にてサロン開催

昨年12月、Jネットサロンに久しぶりに参加したので、感想を書きたいと思います。最後に参加したのは、2014年8月でしたので、実に9年ぶりの参加です。参加のきっかけは、私の会社が決算業務をお願いしている、税理士の福田裕先生から「久しぶりにサロンに参加してみませんか」というお誘いを受けたからです。

まず、会場は「東京新潟県人会館」ですが、コロナ禍の間に建替えがされ、新しいきれいなビルになっていました。

また、サロンの参加費は1,500円に値上がりしていましたが、おつまみのクオリティーは以前に比べて、かなり良くなったかと思えます。さらに、会長も亡き和久井さんから現在は小坂さんに代わられていて、以前と雰囲気はかなり変わった印象を受けました。

参加者のメンバーも、以前からの顔見知りの方の他に、新しいメンバーもいらっしゃいました。面白いのは、医師、建築士、芸術家など、さまざまな職業の方がいらして、いろいろなお話を聴けたことです。

新年を迎え、1月もサロンに参加しました。前回に良い印象を受けたこともあります。元日に起こった地震の影響を聴きたかったからです。当サロンには、上越地方から上京される方もいらっしゃるのので、その方々からの情報は貴重でした。上越地方も特に海に近いところはそれなりに被害があったようですが、少なくとも石川県のような大きな被害ではなかったことを知り、ほっと胸をなでおろしました。そうは言いながら、被害に遭われた方には心からお見舞いを申し上げたいと思います。

これからもサロンで同郷の皆さんと会い、貴重な時間を過ごしたいと思います。(平井伸広 記)

今回は新年会を兼ねて同じ県人会館の広い会議室で開催、39名の参加でした。(前回12月は30名)

初参加及び久々参加の方々による一言は、(順不同)池田さん、石井さん、伊藤(強)さん、笹川さん、大滝さん、大嶋さん、鈴木さん、内田さん、水澤さん、長谷川さん、堀本夫妻。

差し入れのお酒は、(順不同)池田さん「雪ざかり」、沼さん「洗心」、高橋さん「重吉」、櫻野さん「雪中梅」、古川さん、小坂何れも「赤ワイン」。新山さんはじめ北城OGからは、何時も美味しい漬物など、若村さん(アライ印刷)から叶匠壽庵の和菓子、小坂(靖至)さんから笹川の栗羊羹。有り難うございました。(事務局より)



ご参加のみなさん

「日常的にまち歩きをする人が増えないと本町商店街の活性化にならない。まず、まち歩きを楽しんでほしい。」

今回のサロンでは高田本町百年商店街実行委員会(宮越紀柊子代表)制作の「高田百年商店街絵看板双六」をご紹介いたしました。

価格:1セット 3,000円(品代 1,500円+支援金 1,500円)

販売先:本町3丁目~5丁目の各振興組合の事務所/一部の店舗

問い合わせ:高田本町百年商店街実行委員会 TEL 025-525-2501

【次回以降のサロン】(予約不要・途中からのご参加もOKです。)

毎月第2木曜日開催 参加費 1,500円

◆2月8日(木) 17:30~19:00 ◆3月14日(木) 17:30~19:00

会場 東京新潟県人会館「ふれあいふるさと館」

〒110-0005 東京都台東区上野1-13-6 TEL:03-3832-7619

お問合せやご参加は、事務局(宮里) Mail:k.miyazato@araip.co.jp TEL:03-5244-5138までお願いします。



懐かしいお店の看板がたくさん

◆ 春の交流会/懇親会のお知らせ

令和6年度の交流会/懇親会を下記の通り開催します。なお懇親会は7日、8日の両日に行います。

4月7日(日) 13:00～15:00

会場 なかしま食堂 参加費 3,000円

4月8日(月) 12:00～13:30

会場 宇喜世 参加費 3,500円

8日は市外から参加のメンバー主体に午前、午後は松ヶ峯方面、三和地区を観光する予定です。

参加人数に限りはありますが、ご希望の方は下記事務局にご連絡下さい。

7日、8日何れかをご指定下さい、両日の参加も出来ます。

連絡先：Jネット事務局 TEL：03-5244-5138 Mail：k.miyazato@araip.co.jp



なかしま食堂



百年料亭 宇喜世

とれたて上越

1. 上越の行事・展示会

(1) 2024年/レルヒ祭

2月3日(土) 12:00～19:30 2月4日(日) 9:30～15:00

上越市高田はレルヒ少佐によって日本で初めてスキーが伝わった地。たくさんのイベントと特産品の屋台でその功績を称えます。

開催地：金谷山スキー場、高田本町商店街ほか

問合せ先：レルヒ祭実行委員会事務局 TEL：025-543-2777

(上越観光コンベンション協会内)



(2) 灯の回廊 (各地域ごとにツアーバス、コミュニティバスのご用意もあるそうです。)

地元住民によって灯される約10万本のキャンドルが、しんと降り積もった雪で造られた雪像を照らし、あたたかで幻想的な世界が楽しめます。

2月17日(土) 浦川原区・牧区・三和区 17:00～21:00

●うらがわら雪あかりフェスタ実行委員会(025-599-2302)

●まき深山のともしび：牧まちづくり実行委員会(025-533-5151)

●雪と灯の饗宴：三和の自然と地域を育む会(080-6763-8376)

2月24日(土) 安塚区・大島区・高士区・名立区 17:00～21:00

●安塚キャンドルロード：安塚キャンドルロード実行委員会(025-592-3880)

●大島雪ほたるロード：大島雪ほたるロード実行委員会(025-594-3122)

●高士ルミネ：高士地区雪まつり実行委員会(080-2378-9937)

●不動ミニキャンドルロード：輝り不動産の会(090-1044-0019) ●雪と灯の饗宴：三和の自然と地域を育む会(080-6763-8376)

または、上越市観光振興課 TEL：025-520-5741 までお問い合わせください。



(3) 生誕140周年記念 古径さんの素描大集合

令和5年12月2日(金)～令和6年3月10日(日)

描かれた題材は古典絵画を写したもののや身近な草花・動物をスケッチしたものなど、多岐にわたります。それらの中には何度も線を修正しているもの、同じ題材を繰り返し写しているものなどがあり、完成された本画作品では見られないような試行錯誤のあとが垣間見られるかもしれません。



開催時間：10:00～16:00

※2024年2月11日(日・祝)は19:00まで延長開館

会場：小林古径記念美術館

TEL：025-523-8680

(4) 第99回高田城址公園観桜会

令和6年3月29日(金)～令和6年4月14日(日)

高田城址公園では、公園とその周辺を含めて約4000本の桜の開花にあわせて観桜会が催されます。

(※開花状況により、一部事業の前倒し開催や会期の延長があります。)

問い合わせ先

上越観光コンベンション協会

TEL：025-543-2777

上越市観光振興課

TEL：025-520-5741



※10作品の中から最多の356票を獲得した右上の作品が第99回ポスターデザインに決定しました。

◆ 湘南二宮居住50年—散歩・散策のお勧め—

遠藤次男

神奈川県中郡二宮町に居住してこの2月3日（土）で満50年になります。住まいが国道一号線に近く、毎年初め箱根駅伝「往路・復路」を応援しております。

二宮町は、三浦半島、伊豆半島、箱根路の「へそのような海辺の町」で、富士山、大山がよく見え、吉田茂邸がある大磯町が隣町になります。その立地の良さを生かさねばと『散歩・散策』に勤しみ、ちよくちよく横須賀、鎌倉、伊豆散歩、箱根路散策に参ります。

—前島密翁墓前祭—

毎年4月末には、ふるさと上越ネットワークの皆様と「前島密翁墓前祭」（郵便の父・旧津有村出身）—横須賀市芦名—「浄楽寺」に出かけます。びっくりするのは神奈川県下の郵便局長様全員が揃って出迎えられ、日本郵政の社長様ご挨拶、毎年上越市よりバス一台にて「市長様、市議会議員様、上越市関係者」が見えられます。浄楽寺は「鎌倉殿13人の和田義盛ゆかりの寺」で運慶の仏像もあり、相模湾が一望できる風光明媚なところに郷土の誉れの墓所がございます。終わりますと、ふるさと上越会のメンバーと逗子駅前にて「鰯のフライ、三崎マグロを酒肴」に酒盛りをするのが恒例となっており、今年は4月27日（土）が予定されております。



2023年4月22日浄楽寺本堂前で参列者記念撮影

—二つの北条家 伊豆韮山散歩—

春爛漫の侯お勧めは「伊豆韮山」です。

何といっても狩野川べりの桜が素晴らしく、二つの北条家（鎌倉北条家、小田原北条家5代）が誕生した場所で、遠くに見える富士山を眺めながらの桜満開散歩にはもってこいの場所です。鎌倉北条家ゆかりの「願成就院」には、つい最近国宝と認定された「運慶の仏像5体」があり、そこから少し歩いた所に北条早雲の韮山城があります。帰りがけ三嶋大社（伊豆諸島の守り神）に詣で、「高田屋」で鰻を食するのも一考です。

—明治宰相庭園 大磯町—

吉田茂邸、大隈重信邸、陸奥宗光邸のある隣町大磯では、「伊藤博文ゆかりの滄浪閣」他、明治時代の宰相の館を整理改修（通称 明治記念大磯庭園）しております。後2～3年かかると思いますが、修復なりましたら皆様に「大磯散歩」を改めてご案内したいと思います。帰りがけ箱根湯本「吉池旅館」（高田駅前旧スーパー吉池・御徒町吉池経営）の宿泊もお勧めです。元三菱岩崎家の邸内庭園散策後、湧き出る源泉（とにかく大きなお風呂です）に浸かる事をお勧めします。

—鎌倉建長寺 私事を一つ—

年間通じて鎌倉の月刊誌『かまくら春秋（創刊53年）』主宰の「親と子の朗読会」（建長寺・毎週土曜日開催）によく出かけます。座禅を組み、毎回著名な作品（エッセイ・詩・小説他）と著名な方の朗読を、お子様と聞きます（春日山小川未明の作品朗読もありました）。

終わりますと、自由に寺内を見学。

つい最近「石ころだけの墓石」を見つけてびっくりしました。何と昭和の怪物編集者「齋藤十一氏」（週間新潮・フォーカス創刊者）のお墓でした。ただ「漬物石」が置いてあるお墓ですが、瀬戸内寂聴氏の弔辞が刻まれ、あの「金と色と権力」のスクープを徹底的に追及した氏は、「墓は要らぬ、台所の漬物石を置いておけ」が遺言だったようです。

ご興味のある方は建長寺に行かれましたら「回春院」でお探してください。



須弥山とふ妙高山に御慶かな

初松籟真只中にレルヒ像

禁酒解き御神酒頂く三が日

岩関順雄

◆ 雪国を捨てず雪解けある限り

元高田高校教員であった故饒村義治先生の代表作ともいえるこの御歌は、先生ご生前中に朝日新聞の天声人語にも取り上げられ、今年高田高校創立150周年記念の副題にもなりました。

先生の俳号は楓石ですが、今、手元に「楓石句集」があります。Jネット顧問でいらっしゃる松川太賀雄さんと故和久井博さんが、昭和38年以降の先生の未整理のままの新聞の切り抜きをまとめられ、2005年に出版されたものです。朝日俳壇入選372句、毎日俳壇入選句54句が収められています。

先生は学生のころスキーで股関節を骨折され、当時充分な手当もせず、その後も好きなスキーと登山が止められず、あろうことか高田高校に転任されてからは山岳部の顧問まで勤められました。ついに動かなくなってしまった足の再手術のための入院先で、絶望の末に見つけられたのが俳諧の世界でした。

高田高校には大正6年ころから今に引き継がれる全校登山の伝統がありますが、戦後、その復活に尽力されたのが饒村先生でした。

饒村先生といえば、学科では倫理社会。また、生徒からは、厳しい生活指導で、「鬼の饒村」として恐れられていました。筆者も登校の際何が悪かったのか思い出せないのですが、「あとで職員室に來い！」と一喝され、大勢の先生方の前で延々と説教された覚えがあります。この句集を手にしたとき、その鬼の饒村先生が、同時にこんなにも豊かな俳句の世界に遊んでいたのかと驚きました。

この冬は1月にはいってもスキー場には雪がありません。私たちは、さんざん雪に苦労してきたはずなのに、先生の詠う「大雪」にロマンを感じてしまうのはどうしたことでしょうか。

鱈下げて越の女は器量よし

私はこの一句で、先生の呼び名から「鬼」の一字をはずすことにいたしました。

今年一年、饒村先生の御歌を少しずつ紹介させていただきます。

祖父江ひろみ 記

外湯へは深雪明りに行けといふ
夕月に氷柱は金となり育つ
大雪の合間々々の小雪かな
雪卸し終へて安堵の梁見上ぐ
戸口にて雪払いをり妻らしや

饒村楓石

◆ 戸張幸男 彫刻作品集

表記作品集を紹介します。この作品集は2023年11月23日～25日に上越市寺町3の大巖寺（佐藤信明住職）で開催された上越 戸張幸男さん展と同時期に出版・配布されました。

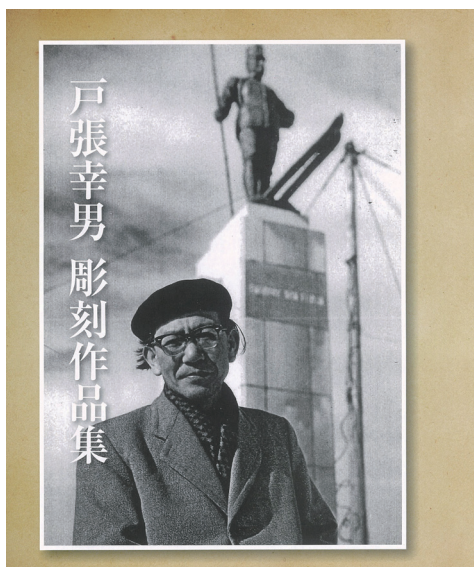
金谷山にあるレルヒ像は有名ですが、その制作者についても知っていただこうと市内の有志「六人の会」が作品展を企画、作品集も出版されました。

作品集には、息子さんで彫刻家の戸張公晴（幸正）さんによる「父の思い出」、レルヒ像制作の過程、また戦前の朝鮮滞在期に活躍されていた当時の作品も掲載されています。

なお、この作品集は限定で配布されたものです。Jネットでも入手していますので、サロンほかの会合時には用意しますのでぜひ一読ください。

本件についての問い合わせはJネット事務局(宮里)までお願いします。

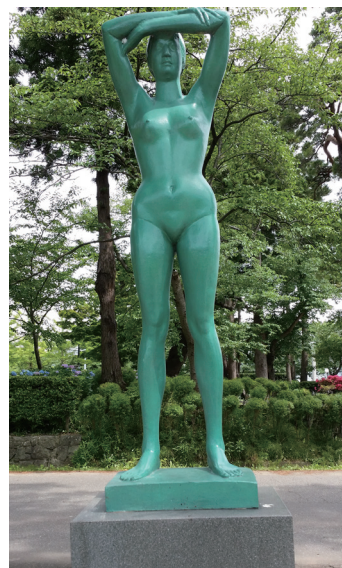
(電話：03-5244-5138、Mail：k.miyazato@araipt.co.jp)



発行者 六人の会
上越市寺町3-8-29 大巖寺
佐藤信明
編集 株式会社高田広告舎プラステン



「平和像」海浜公園
(撮影 小坂庸雄)



「明」高田城址公園
(撮影 小坂庸雄)

戸張幸男（1908～1998）さんの紹介

福岡県生まれ、両親の都合で朝鮮半島に渡り、その後東京美術学校（現・東京芸術大彫塑学科）卒業（1933）。朝鮮に戻ったのち帝展などを中心に活躍。

戦後は祖母の実家がある旧高田市に居住し、新潟大学教育学部高田分校芸能科発足に伴って彫塑科で教鞭をとり、のちに同高田分校美術主任教授となり(1955)、後進の指導、市展などの創設に関わりました。その後1974年に退官し、翌年新潟大学美術科初代名誉教授に。

代表的な作品である金谷山のレルヒ像はスキー発祥50周年記念として旧高田市が制作を依頼し、1961年1月に除幕式が開かれました。

このほか代表作には母子三人群像「平和像」（1960、海浜公園）、裸体像「明」（1982、高田城址公園）などがあり、いずれも私たちがよく見ている像です。なお、平和像は本日より昨年8月25日号で宮崎俊英さんの寄稿（会員ひろば）でも紹介されました。

小坂庸雄（高田出身）

◇2/11(日・祝)～15(木)池袋演芸場・昼の部

時 間：午後12時半～4時15分 ※鯉橋は1時15分の出番
木戸銭：2,800円(各種割引有り。要お問合せ)
主 任：桂小文治 ほかに文治、夢丸、正二郎など出演
お問合せ：03-3971-4545(池袋演芸場)

◇2/21(水)～25(日)国立演芸場寄席(会場は内幸町ホール)

※23(金・祝)は鯉橋休演

時 間：午後1時～4時木戸銭：2200円(各種割引有り。要お問合せ)
出演：遊雀、可龍、鯉橋、正二郎ほか
会 場：内幸町ホール(内幸町・新橋)
お問合せ：0570-07-9900または03-3230-3000
国立劇場チケットセンター(午前10時～午後6時)

◇2/23(金・祝)東京国立博物館「プチ・キッズデー」イベント

「大笑い！落語の世界」～寄席文化を楽しもう～
時 間：午前11時～正午、第一部「落語体験ワークショップ」
：午後1時半～2時半、第二部「落語会」
木戸銭：東京国立博物館の入場料(大人1000円、子ども500円)
出 演：鯉橋ほか 会場：東京国立博物館内・平成館大講堂
お問合せ：050-5541-8600(ハローダイヤル)

◇3/10(日)昭月落語会

時 間：午後3時～5時 木戸銭：2000円
出 演：鯉橋、里光、桃之助
会 場：寿司屋の昭月(新川崎または鹿島田。鹿島田1-4-8)

☆ブログ『〜七転び八起の末のホンダラダ〜』<https://blog.goo.ne.jp/rikyoh3194> もぜひご覧ください。 鯉橋拝

上越産品販売のお知らせ

- 「Jネットふるさと市場」「取次販売商品一覧」会員は送料無料でお取り寄せができますので、どうぞご利用ください。
現行の各社パンフに加えて、取次販売商品一覧(A4版1枚)を同封にてお届けします。

- 上越特産市場 JCCソフト株式会社運営による、上越農林水産物・特産品のネットショッピングモール「上越特産市場」です。
「上越特産市場」でネット検索いただき、お申込み下さい。

- 常設店舗「雪国商店」(有楽町駅から約3分)

場 所 有楽町交通会館1階
営業時間 11:00～19:00
年中無休(年末年始は休業)
「雪国商店」でもネット検索してご覧ください。

- 新潟・上越妙高「うまさ直送！雪国マルシェ」

日 時 2月24日(土)・2月25日(日)
会 場 有楽町 交通会館1階 東京交通会館1Fピロティ
時 間 11:30～17:30

「雪国商店」&「雪国マルシェ」お問合せ先JCV東京情報センター TEL：03-5218-7730

●ふるさと上越ネットワークのホームページをご覧ください

おかげさまで、JネットHPの閲覧者数は、国内、海外を合わせて増え続けています。内容も、上越市の四季の写真他、掲載は多様です。ぜひとも、「ふるさと上越ネットワーク」を検索し、ご覧ください。スマートフォンからは、右のQRコードからご覧ください。



◎上越タイムス電子版、上越ケーブルビジョンへのアクセス方法(会員のみ)

- ① HP右肩「Jネット会員メニュー」をクリック ②「ログインはこちら」をクリックし各社のHPへ
- ③ 下記のメールアドレス・パスワードにてログインしてください。



新刊本のご紹介

◆稲場晃美共著「相続ワードの伝え方」

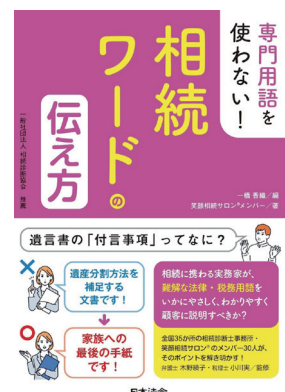
相続に関する難解な事柄を、専門用語を使わず図解も入れながら、ひょうじょうに分かりやすく解説しています。(定価1,700円+税、日本法令出版)

稲場晃美さんは、川崎の生まれ、相続に強い不動産屋として、現在は東京と上越の2拠点で営業中。遠方にある実家の困りごとを得意としています。

笑顔相続サロン®南青山代表

高田デザインスタジオ代表取締役

(相続診断士、宅地建物取引士、2級FP技能士、AFP)



上越市からのお知らせ

◇ 令和6年1月能登半島地震 災害緊急支援・寄附を受付 ◇

～ふるさと納税でご支援・ご協力をお願いします～

「令和6年能登半島地震」により、上越市でも津波被害や土砂崩れによる国道の通行止め、建物被害などの地震被害が発生しました。

現在、復旧に向けた作業が着実に進んでおりますが、継続的な支援が必要となっています。

ふるさと納税ポータルサイトにおいて、災害支援の寄附金受付を開始しておりますので、多くの皆様の温かいご支援とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

※1,000円からの寄附が可能です。
なお、災害支援のため、お礼の品は
お送りしておりません。

照会先：総合政策課企画調整係
(TEL：025-520-5625)



- ・右のQRコードからふるさと納税ポータルサイトの情報をご覧ください。
- ・災害支援を希望される方は、各ポータルサイトの災害支援のページからお願いします。



◇ 上越市ふるさと暮らしセミナー『地方移住と起業のストーリー』の開催 ◇

上越市での暮らしの魅力や情報を、U・Iターンを検討する皆さんにお伝えする「上越市ふるさと暮らしセミナー」を開催します。今回は「地方移住と起業のストーリー」と題し、上越市で起業したゲストから、上越市で起業する魅力や経験などのほか、移住前後の暮らしやライフスタイルの違いなどをお話いただきます。ご家族やお知り合いに、U・Iターンを検討している方がおられましたら、ぜひご紹介ください。

日 時：令和6年2月7日（水） 午後7時30分～午後8時45分
場 所：WEB会議システム「Zoom」を使用し、オンラインで開催
対 象：上越市へのU・Iターンを検討している人
内 容：ゲストトーク



上越市ふるさと暮らし
セミナーページ
二次元コード

上越市で起業したゲストから、上越市で起業する魅力や経験、今の暮らしぶりなどをお話いただきます。
・フリートーク

みんなで楽しくおしゃべりタイム！移住に対する不安や疑問、ゲストにあれこれ聞いていただいましょう！もちろん「上越市ってどんなところ？」という質問もOKです。気軽にお話ししましょう。

申込み：2月5日（月）までに上越市ホームページからお申し込みください。

上越市ふるさと暮らしセミナーHP

URL <https://www.city.joetsu.niigata.jp/site/furusato/furusato-seminar20240207.html>



照会先：多文化共生課（TEL：025-520-5674）

●●●●● Jネットからののお知らせとお願い ●●●●●

皆様よりの寄稿、投句をお待ちしています。

さらに、たよりについての感想、記事や俳句の感想をお寄せ頂ければ、寄稿や投句された会員の励みになります。こちらもお待ちしています。

Mail 送信先 事務局：k.miyazato@araipt.co.jp

◎次号「たより」は令和6年3月10日の発行です。



真冬の太陽 1/1 撮影Cさん